

ち帰ることは想定していないが、モバイルルータを貸したいと考えている。ただし、ピカラおおとよ光に現

する場合は全家庭無料と在接続されている家庭については、月額定額になつていることから使用しても金額は変わらないので補助的なものは現在考えていな

い。

▼小川智也議員
片方は無料貸し出し（町負担）、片方は各家庭（自己負担）となり平等不平等は考え方の違いである。今後そういう意見が出たら、きちっと対応してもらいたい。



▼小川智也議員
町内の自動車整備工場が車検制度関連で摘発されたという新聞報道について、前町長は「車両等の安全管理上の措置として、一部車両の緊急点検を実施すると共に今後の庁用車の管理整備点検等の発注について見直しを行います」に対し、大石町長は就任されたり、わずか1ヶ月で元に戻しているが、再点検にかかる費用はいくらか。またその判断と経緯を問う。

▼大石雅夫町長
緊急点検は予備費から150万6,000円を充當した。車両等を管理する担当課からその点検の報告を受け、結果は法定点検に違反なく、罰するものはないとの慎重に審議判断して戻した。

▼小川智也議員
この問題については、町が処分する立場ではなく、その中身を町が判断することにはならないので、今後説明はしない。

▼大石雅夫町長
住民サービスを利用する方には、不安を抱きつつ利用していかなければならぬのか。安心安全とは、安心安全に至る対策が安心安全に繋がる。それに対して判断ミスをすれば、本当の意味での安心安全の住民

▼藤丸高徳議員
町長は4月に人口増や集落維持への町民の意欲を高めるような総合的政策を急ぐと言られているが、その中でも空き家対策を通じて、いろいろなことをプラスしながら一ターン、ローターの方々の家対策、そして地域産業を考えていかなくてはならないと思うが。

▼大石雅夫町長
少子化に対しては移住者に対する支援は以前から行っていて、移住を検討されている方への相談窓口も設置しているが、より一層、

問4

答

管理体制について
安心安全の住民サービスへの判断を見直すべきでは信頼を醸成することに力を入れていく

▼小川智也議員
その最終判断に対し町民バス、スクールバスを利用する住民や保護者の方からその件に対し行政側から説明をしたのか。

▼大石雅夫町長
安心安全を住民に提供することが行政の使命だが、全てについて安全を確保するところは難しい。安心安全を住民に提供することが行政の使命だが、全てについて安全を確保するところは難しい。

▼大石雅夫町長
サービスの提供をするには繋がらない。特に人の命に関わることは、もう少し慎重に慎重を重ねたうえでの判断が必要ではなかつたか。今後見直しを検討する考えはないか。

人々の繋がり、信頼を醸成することに力を入れていく。安心安全を提供する町としての考え方を出していくしかない。また、不安の声は直にお届けいただけたう対応させていただく。

力を入れなければならないと思つてている。そして子育ての環境を良くすることにも力を入れていく。また産業振興についても町の特性を生かした作物をつくり、それをいかに独自産業化としていくか今後の課題である。

▼藤丸高徳議員
町内の農地は、小さな農地から放棄されている。現在年間どのくらい農地が放棄されているか。また農業の生産性の高い年代に対する取り組みは。

▼小川進農業委員会長

2015年の農業センサス調査では、町内の耕作放棄地をつくる方の多くもおらず

問6

農業の生産性の高い年代に対する取り組みについて
働き盛りの方に支援ができる環境を整えていか

答

▼藤丸高徳議員

県と連携して農業ができる環境を整えていく

▼小川進農業委員会長

進まないのが現状である。その中で領北農業改良普及

問7

教育環境について
大豊学園のメリットは

答

▼藤丸高徳議員

所等と連携して、新規就農者や農地の流動化などを推進しながら、優良農地の確保、耕作放棄地を未然に防ぐ取り組みを行っている。

▼大石雅夫町長

支援については、新規就農者や認定農業者を中心とした耕作放棄地の利活用の推進なども進めているが、適作な農地を希望する農業者のマッチングは容易に進まないのが現状である。

力を入れなければいけない

▼藤丸高徳議員

町内の農地は、小さな農地から放棄されている。現在年間どのくらい農地が放棄されているか。また農業の生産性の高い年代に対する取り組みは。

▼小川進農業委員会長

2015年の農業センサス調査では、町内の耕作放

地をつくる方の多くもおらず

▼藤丸高徳議員

町内の農地は、小さな農地から放棄されている。現在年間どのくらい農地が放棄されているか。また農業の生産性の高い年代に対する取り組みは。

▼小川進農業委員会長

2015年の農業センサス調査では、町内の耕作放

問7

教育環境について
子どもたちの戸惑いや不安を軽減する

答

▼藤丸高徳議員

現今は小学校6年間、中学校3年間の6・3制であるが、来年度開校の大豊学園は9年制である。そのメソッドは。

▼鎌倉仁教育長

本町は小中一貫教育をわかりやすくするために大豊学園では5・4制の教育課程を編成するようにしてい

れるが、昨年ごろからコロナの影響もあり収入が少なくなってきた。今回の補正予算で園芸用ハウス整備事業補助金67・2万6,000円が計上されているが、その先の販売まで関わることはできない。

▼藤丸高徳議員

現況は山林や原野が多数存在しており、ある一定の面積の農地が耕作放棄地となっているのが現状である。

▼大石雅夫町長

支援については、新規就農者や認定農業者を中心とした耕作放棄地の利活用の推進なども進めているが、適作な農地を希望する農業者のマッチングは容易に進まないのが現状である。

所等と連携して、新規就農者や農地の流動化などを推進しながら、優良農地の確保、耕作放棄地を未然に防ぐ取り組みを行っている。

▼大石雅夫町長

支援については、新規就農者や認定農業者を中心とした耕作放棄地の利活用の推進なども進めているが、適作な農地を希望する農業者のマッチングは容易に進まないのが現状である。

力を入れなければいけない

▼藤丸高徳議員

町内の農地は、小さな農地から放棄されている。現在年間どのくらい農地が放棄されているか。また農業の生産性の高い年代に対する取り組みは。

▼小川進農業委員会長

2015年の農業センサス調査では、町内の耕作放

地をつくる方の多くもおらず

▼藤丸高徳議員

町内の農地は、小さな農地から放棄されている。現在年間どのくらい農地が放棄されているか。また農業の生産性の高い年代に対する取り組みは。

▼小川進農業委